

「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」の進捗状況について

◎ 趣旨

「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」（計画期間：平成27～29年度）における、今年度の進捗状況を取りまとめたことから、その内容について検証・評価いただくもの

1 「にっこり安心プラン（第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画）」の進行管理について・・・[参考資料](#)

- ・ にっこり安心プランにおける施策・事業のうち、特に重要なものについては、進捗状況などを的確に把握し、総合的・効果的な執行を確保するため「成果指標対象事業」「主要事業」として選定し、「社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会」において、定期的に進捗状況を検証・評価いただくこととしている。
- ・ このため、今年度の「成果指標対象事業」「主要事業」の進捗状況を評価するにあたり、平成29年度の目標値や関連計画を参考に、今年度の推定目標値を算定し、次の区分により評価をとりまとめ、報告するものとする。

○ にっこり安心プランにおける事業評価区分

評価区分	進捗状況
A：順調に進んでいる	90%以上
B：概ね順調に進んでいる	70～90%
C：やや遅れている	70%未満

2 基本目標別の取組状況

(1) 基本目標1「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	26年度実績値	27年度見込値	27年度推定目標値	推定目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
◎ 地域会議などを活用した地域ネットワークの充実							
1	地域包括支援センターの認知度 (65歳以上高齢者)(%)	65.8	—	—	—	—	80.0
3 ボランティア養成講座等の充実							
	ボランティア養成講座等参加者数(人)	1,284	1,347	1,670	80.7	B	2,355
消費生活情報の提供の充実 (地域包括支援センターなどと連携した消費生活情報の提供)							
19	出前講座開催回数(回)	84	111	110	100.9	A	120
	出前講座出席者数(人)	3,894	4,298	4,300	100.0		4,500
ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進							
20	見守り活動会議を開催した単位自治会の割合(%)	67.6	71.0	69.4	102.3	A	73.0
	安否確認実施回数(回)	1,005	960	960	100.0		980
21 災害時要援護者支援事業の実施							
	支援班設置地区における台帳共有化率(%)	82.3	80.0	90.6	88.3	B	100.0

※ 地域包括支援センターの認知度については、計画策定時に調査を行う。

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ ひとり暮らしの高齢者等が住み慣れた地域の中で安心して生活できるよう、高齢者の身近な相談窓口となる地域包括支援センターについて広報紙等による周知に取り組んだほか、地域包括支援センターを中心に民生委員や自治会長、福祉協力員などが参加する「見守り活動会議」を開催しており、単位自治会での開催割合は増加している。
- ・ 多くの市民が地域の支え手として活躍できるよう、ボランティアの養成に取り組み、参加者数は増加しており、また、高齢者が自らの経験を活かしながら地域の担い手として活躍できるよう支援する「高齢者等地域活動支援ポイント事業」のうち、「地域貢献活動」の今年度参加者は、約4,000人が見込まれるなど、基本目標1については、おおむね順調な進捗となっている。

(2) 基本目標2「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業 番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	26年度 実績値	27年度 見込値	27年度 推定 目標値	推定 目標値に 対する 進捗(%)	評 価	29年度 目標値
健康づくり実践活動の促進							
29	(健康づくり推進員・食生活改善推進員と連携した地域主体の健康づくりの促進)						
	健康づくり推進員養成者数(人)	1,267	1,353	1,390	97.3	A	1,550
◎ 地域での介護予防活動への支援							
40	(介護予防の自主活動グループに対する専門職の派遣による支援)						
	自主活動グループ数(グループ)	127	210	150	140.0	A	190
老人クラブ活動の育成・支援							
43	単位老人クラブ数(クラブ)	337	324	339	95.6	A	343
	老人クラブ会員数(人)	19,287	18,739	19,500	96.1		19,900
◎ 高齢者等地域活動支援ポイント事業の本格実施							
44	参加者数(人)	5,121	8,760	7,000	125.1	A	10,000
みやシニア活動センター事業の推進							
52	(高齢者のライフスタイルに合わせた情報提供や講座等の実施)						
	みやシニア活動センター利用者数(人)	4,748	5,600	5,200	107.7	A	6,800

イ 今年度の取組に対する評価

- ・ 高齢者がボランティア活動などの地域貢献活動や介護予防活動に取り組むことで、高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりに繋がるよう、今年度より「高齢者等地域活動支援ポイント事業」を本格実施したところであり、事業の参加者については8,000人を超える状況となっている。
- ・ また、高齢者自らが介護予防に取り組むことにより、健康寿命の延伸に繋がるよう、地域で介護予防に取り組む自主活動グループへの支援に取り組んでおり、自主活動グループ数についても着実に増加していることから、基本目標2については、おおむね順調な進捗となっている。

(3) 基本目標3「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	26年度実績値	27年度見込値	27年度推定目標値	推定目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
66	家族介護教室の開催 開催回数(回)	55	55	58	94.8	A	58
◎ 70	認知症サポーター等の養成・支援の推進 (企業や小・中学校など多様な場での講座の実施) 認知症サポーター数(累計・人)	20,600	24,900	21,000	118.6	A	25,000
71	認知症初期集中支援チームの設置に向けた取組 (「認知症疾患医療センター」との連携による検討) 認知症初期集中支援チーム数(チーム)	—	—	—	—	—	1
72	認知症支援医療・介護従事者合同研修会の開催・支援 研修会参加者数(人)	150	87	150	58.0	C	200
77	認知症サロン(オレンジサロン)の推進 認知症サロン設置箇所数(箇所)	3	3	3	100.0	A	3
79	権利擁護事業の推進(法人後見の推進, 担い手育成) 地域における虐待防止のための普及啓発活動(回)	39	39	39	100.0	A	39

イ 今年度の取組に対する評価

- 本市では、認知症の高齢者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「認知症対策」に重点的に取り組んでおり、本計画の成果指標である「認知症サポーター数」については、企業や学校など様々な場での講座の開催により、今年度の実績見込みは24,900人となっている。
- また、「認知症初期集中支援チーム」の設置に向け、認知症の専門医療機関である「認知症疾患医療センター」と連携した検討組織を立ち上げるなど、施策・事業を着実に推進しており、基本目標3については、おおむね順調な進捗となっている。

(4) 基本目標 4 「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」

ア 取組状況 【◎…成果指標対象事業】

事業番号	【上段】事業名 【下段】成果指標	26年度実績値	27年度見込値	27年度推定目標値	推定目標値に対する進捗(%)	評価	29年度目標値
◎ ケアプランに対する助言・指導の実施							
83	ケアプラン点検数(件)	347	362	360	100.6	A	360
◎ 介護従事者等の資質の向上							
84	研修開催回数(回)	9	9	9	100.0	A	9
介護保険事業の情報提供							
87	介護保険の手引き作成部数(部)	11,000	12,000	12,000	100.0	A	12,000
地域療養支援体制の整備(「地域療養支援体制検討会議」を活用した「退院支援」や「24時間365日の在宅療養支援」に向けた検討)							
91	在宅医療提供体制の構築に向けた検討組織の設置数(組織)	3	6	6	100.0	A	7

イ 今年度の取組に対する評価

介護を必要とする高齢者の状態に応じた適切なサービス提供が図られるよう、介護サービスの質の向上に向けたケアプランの点検や、介護従事者の資質向上に向けた研修会を実施したほか、「地域療養支援体制」の構築を図るため、医療・介護従事者間の情報共有に繋がる「退院支援手順書」の作成・試験運用を開始するなどの取組を進めており、基本目標4については、順調な進捗となっている。

(5) 全体評価

高齢者が健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができるよう、4つの基本目標を設定し、各種施策・事業に取り組んでいるところであり、これら事業の柱となる「成果指標対象事業」や「主要事業」については、平成29年度の目標値に対し、順調に進捗していることから、計画全体が順調に進捗しているものと評価する。

3 今後の取組について

□ 基本目標 1 「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

高齢者が地域の中で孤立することなく、安心して暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える必要があることから、引き続き、地域包括支援センターを中心とした見守り活動に取り組むほか、より多くの高齢者が地域の担い手となって活躍できるよう「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に取り組んでいく。

□ 基本目標 2 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

高齢者がいつまでも健康で生きがいを持ち、いきいきと暮らすことができるよう、健康寿命の延伸に向けた取組が重要となることから、引き続き、地域で介護予防に取り組む自主グループへの支援に取り組むほか、高齢者の健康づくりの推進や生きがいくりの促進に向け、「高齢者等地域活動支援ポイント事業」に取り組んでいく。

□ 基本目標 3 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症に対する正しい理解に向けた周知啓発や、医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実に向けた取組を進める必要があることから、認知症サポーターの養成や、医療・介護従事者への研修に加え、誰もが気軽に集うことができ、認知症に関する相談も可能な地域の間である「オレンジ・サロン（認知症サロン）事業」などに取り組んでいく。

□ 基本目標 4 「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」

介護を必要とする高齢者の状態に応じた質の高いサービスを提供する必要があることから、引き続き、介護従事者の資質向上に向けた研修会に取り組むほか、平成29年度からの「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施に向けた準備を進めるとともに、「地域療養支援体制」の整備に向け、医療・介護従事者の連携強化に取り組んでいく。